



長野地本第10回定期大会を開催しました

8月27日（金）、長野市の「JA 長野県ビル」において長野地本「第10回定期大会」を開催しました。「第10回定期大会」も新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮しながらの開催となりました。昨年開催された第9回定期大会から今日までの運動の総括と、**メインスローガン「安全で働きやすい職場風土を構築し、社会から信頼される労働運動を推し進めよう！」**を柱とした向こう一年間の運動方針を参加者全員で確認しました。



地本臼井委員長からは「コロナ禍での大会開催について」「コロナ禍における春闘などのたたかい」「大雨の影響における職場の現状と検証の必要性」「ジョブローテーションについて」「会社効率化の検証、たたかいについて」などのあいさつがありました。



本部生田書記長からは「今年のスローガン『東日本ユニオンの明るい未来を語ろう』について」「現業機関における柔軟な働き方の実現についての検証」「新型コロナウイルスへの対応や会社へのチェック機能について」などのあいさつがありました。

質疑では「総合運用について」「現業機関における柔軟な働き方について」「新たなジョブローテーションについて」「大糸線の業務体制の見直しについて」「長野新幹線車両センターの現状について」「夏季手当の取り組みについて」「新たなジョブローテーションや柔軟な働き方における職場内の不安について」「春闘、賃金について」など、様々な発言がありました。

コロナ禍で大変な時ですが、感染拡大防止に留意しながらさらなる組織強化・拡大と職場諸問題の解決、安全で働きやすい職場づくりを全組合員で自信を持って推し進めていきましょう！



佐久支部 桜井代議員 松本支部 木村代議員 総支部 川田代議員 長野支部 福沢代議員 松本支部 望月代議員 長野支部 久保田代議員

<サブスローガン>

- JRグループで働くすべての労働者の「死亡事故・重大労災ゼロ」
に向け、安全風土の確立と風通しの良い職場をつくりだそう！
- あらゆる労働条件・労働環境を総点検し、働きやすい職場をつくりだそう！
- 全組合員参加の労働組合運動を通して、組織の拡大と強化に向けて
全力で取り組もう！
- 2022 春季生活闘争をすべての労働者と共闘・連帯して、大きくつくりだそう！
- 平和憲法と民主主義を守るため、すべての労働者と連帯しよう！

執行委員長	臼井 幸一
執行副委員長	滝沢 宏幸
執行副委員長	池田 守
書記長	小林 正樹
執行委員	青木 和隆
執行委員	小倉 勝巳
執行委員	三澤 明男
執行委員	駒込 宏彰
執行委員	滝沢 義亜
執行委員	丸山 敏史
執行委員	山本 貴也
執行委員	永井 努
会計監査員	原田 健二
会計監査員	間島 厚
会計監査員	笹岡 伸一郎

今年よろしくお願ひします！